



ロータリーの未来は  
あなたの手の中に

# Weekly Report

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

創立：1980年(昭和55年)11月10日  
 会長：増田 盛英  
 幹事：高木 勝  
 クラブ委員長：岩崎 道夫

例会日：毎週木曜日PM12:30~  
 会場：ヒルトン名古屋  
 事務局：460-0008  
 名古屋市中区栄1丁目3-3  
 ヒルトン名古屋910号

TEL：052-211-3803  
 FAX：052-211-2623  
 MAIL：2760nagoya@mizuho-rc.jp  
 URL：http://www.mizuho-rc.jp/

2009~2010年度  
 国際ロータリーのテーマ  
 ロータリーの未来はあなたの手の中に  
 2009~2010年度  
 RI会長 ジョン・ケニー

## 第1451回例会

~識字率向上月間~  
 クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2010年3月18日(木) 雨 第34回

例会及びI.D.M.

司会：馬場将嘉会場委員長  
 斉唱：「それでこそロータリー」

### 会長挨拶

増田盛英会長

今日はI.D.M.例会です。毎月クラブ奉仕委員会が開かれ、稲葉徹クラブ奉仕委員長はじめクラブ奉仕関連の委員長の皆さんで色々な企画がされておりますのできっとすばらしいI.D.M.になると思っております。稲葉委員長、よろしくお願い致します。



3月13日(土)14日(日)と第22回全国ローターアクト研修会が名古屋で開催され、RCからは遠山堯郎さんが統括委員長を務められました。また、会員伊藤豪さんのご子息である伊藤卓君が実行委員長として活躍されました。約800名のアクターが全国から参集し、成功裏に終わりました。当クラブからも西本哲RAC委員長はじめ15名の会員の方にご出席いただき、誠にありがとうございました。4月22日のRACとの合同例会で報告があると思います。

次に、台北延平RCの33周年記念式典のご報告を致します。3月15日(月)に当クラブ会員13名、家族7名の計20名で台北延平RCの33周年記念式典に出席して参りました。堀慎治国際奉仕委員長はじめ13名の会員の皆さん、大変お疲れさまでした。1月のホームステイを受け入れていただいた堀さんのお嬢さんお二人と平野好道さんの奥様とお嬢様にもご出席いただき、更に交流が深まったのではないかと思います。式典には、台北延平RCの姉妹提携先の茅ヶ崎湘南RCはじめ台湾のRCからも大勢のロータリアンが祝いに駆けつけて約300名出席の盛大な式典でした。

式典は18時からTAIL会長の点鐘・台湾国歌・日本国家、そしてTAIL会長の挨拶に始まり多くの台湾国内のRCの皆さんが祝いの言葉を述べられました。私も茅ヶ崎湘南RCの浅田会長のあとに祝いの挨拶を致しました。

懇親会は、19時10分から始まり最高の盛り上がりとなり21時過ぎに終了となりました。

嬉しかったこと、感激したことがありました。それは、3月4日に他界されました中川啓二郎さんの逝去を悼み全員で1分間の黙祷をしていただいたことです。全くプログラムに無く、知らされていませんでしたので驚きましたが、台北延平RCのTAIL会長はじめ会員の皆さまの気配り、ご厚情に心より御礼申し上げたく思います。黙祷の1分間に色々なことが思い出され、涙腺が緩んで泣けてまいりました。本当に感謝、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

## 出席報告

松岡道弘出席委員長

会員70名 出席42名 (出席計算人数53名)

出席率 72.4%

3月11日は補填により 95.1%

## ニコボックス

松岡道弘ニコボックス委員長

- ・台北延平RCの創立33周年記念行事に参加。老朋友と旧交をあたためてきました。 **高村 博三さん**
- ・台北延平RCの33周年のお祝いに行ってまいりました。堀委員長はじめ20名の参加の皆さんご苦勞さまでした。又今日はI.D.M.です。稲葉委員長はじめ関係各位の方はよろしくお願い致します。 **増田 盛英さん**
- ・台北延平RC33周年記念式典に会長以下20名で行ってまいりました。延平の会員の皆さまに大変お世話になりました。又今日はI.D.M.で稲葉クラブ奉仕委員長、色々ありがとうございました。 **高木 勝さん**
- ・台北延平RCへ行ってきました。 **岩本 成郎さん**
- ・本日つまらないお話をすることになっております。よろしくお付き合い下さい。 **野崎 洋二さん**
- ・今日はお世話になります。よろしくお願い致します。 **関谷 俊征さん**
- ・関谷さんパネリストご苦勞さま。 **高須 洋志さん**
- ・いよいよ30周年式典が近づいて来ました。皆さまのご協力をお願い致します。 **本多 清治さん**
- ・親睦の皆さま、ご苦勞様です。お世話になります。 **大島 浩嗣さん**  
本日のI.D.M.はクラブ奉仕委員会の担当です。「創立30周年を迎えた瑞穂RCの現状と今後の展望」というテーマで3人のスピーカーにお願いし、高村長期ビジョン委員長にまとめをお願いしました。最後まで帰らず一緒に語って下さい。 **稲葉 徹さん**
- ・本日のI.D.M.を宜しくお願い致します。 **田中 政雄さん**
- ・I.D.M.の盛會を祈ります。 **守谷 巖樹さん 岡本 忠史さん**  
**田中 隆義さん 長坂 邦雄さん**
- ・欠席が続きました **吉木 洋二さん**
- ・結婚月です。 **佐藤 善乙さん**
- ・3月16日は誕生日でした。66オソロ口目になりました。 **伊藤 豪さん**
- ・家内の誕生日に花を有難うございました。お祝いをして頂けるのはロータリーだけと言っておりました。 **森 恒夫さん**



- ・次週3月25日(木)13時40分よりヒルトン名古屋6階「けやきの間」において新旧会長・副会長・幹事懇談会を開催いたします。
- ・同じく次週3月25日(木)11時よりヒルトン名古屋6階「けやきの間」において長期ビジョン委員会を開催いたします。

## 米山奨学会より感謝状贈呈



米山記念奨学会より青柳齊さんに感謝状が届き、増田会長より授与されました。

## 台北延平RC創立33周年記念式典

3月15日(月)に台北延平扶輪社の創立33周年記念式典に当クラブ会員13名、会員家族7名が出席しました。



## 開会挨拶:稲葉徹クラブ奉仕委員長

増田会長の「原点を見つめなおそう」という会長スローガンの基、クラブ奉仕委員会で、本年度I.D.M.の企画並びに運営を委任されました。I.D.M.というのは「Informal Discussion Meeting」の略で別名「ファイヤーサイドミーティング(炉端会議)」とも言われ、本来は居酒屋のような肩のこらない場所で行われるものです。本日は「原点を見つめなおそう」という会長スローガンの基、一部として「創立30周年を迎えた名古屋瑞穂RCの現状と今後の展望」について、野崎洋二さん、伊藤豪さん、関谷俊征さんにクラブの代表として、5分ほどお話していただき、最後に長期ビジョン委員長として高村博三さんに総括していただきたいと思います。二部におきましては30分程各テーブルごとにお話していただき、各テーブルの中で入会が一番浅い方に発表をしていただきます。どうぞよろしくお祈りします。

## 瑞穂RC創立の目的と30周年経過後の相違:

チャーターメンバー 野崎洋二さん



チャーターメンバーを代表してお話させていただきます。名古屋瑞穂RCチャーターメンバーは、創立時に親クラブである名古屋南RCから選定された34名でした。現在では名誉会員を含め8名と大変寂しくなりました。

ご存知の通りスポンサークラブは名古屋南RCです。当時のガバナーより新クラブ設立の要請があり、とんとん拍子に話が進みました。話が出たのが7月で1月には創立総会が開かれるという異例のスピードでした。私どもは何もわからない状態でしたが、34名のうちの4名が名古屋南RCから移籍されてきた人で、その方たちに大変熱心にご指導いただきました。その結果このような素晴らしいクラブができたのであろうと思います。

5月10日にロータリー加盟認証状の伝達式であるチャーターナイトが開催されることになりましたが、それに関しても何もわからない状態でしたので、当時大阪に新しくできたRCのチャーターナイトに皆で参加しました。また2人1組となって愛知県の各クラブを訪問してPR活動も行いました。チャーターナイトまではその勉強ばかりしていた記憶があります。そして当日は870名参加のもと盛大に行われ、大成功に終わりました。他のクラブからも素晴らしい式だったとお誉めの言葉をいただきました。このように、行事を成功させたあとの喜びがロータリーのよさでもあると思います。本当に皆が1つになって輪を広げていったという実感がありました。これが私がロータリーに入って一番印象に残っていることです。まもなく開催される30周年式典や地区大会がとても良い機会ですので、是非皆で力を合わせて成功させましょう。

当時、私は会報委員長をしておりました。今と違って予算が全くなかったため自分で原稿を起し町の印刷屋へ持って行き次の例会で配布しておりました。大変苦労しましたが今となっては楽しい思い出の一つです。

当時は人数が少なくまとまりが良かったように思います。とにかくロータリーが楽しかったです。皆さんに是非実行していただきたいことがあります。色々な会合に出席する機会があれば積極的に参加してください。それがロータリーの根本でありそれによって友情が深まり人格としても大きくなっていきます。昔と今の違いですが、昔は心が広く堂々としていたように思います。それに比べて今のロータリーはちょっと小さいと思います。やるべきことはしっかりやり、そのうえで大いに羽目をはずしていただくことは結構だと思います。

また機会があれば当時の思い出などお話ししたいと思います。ありがとうございました。



## ロータリークラブに入会して良かったこと、また反省点： ナイスミドル会員 伊藤 豪さん



名古屋瑞穂RCが創立30周年、私が入会して足かけ15年ということで「ナイスミドル」という素晴らしい名前をつけていただきました。本日は「ロータリークラブに入会して良かったこと・反省点」というテーマでお話させていただきます。

私が入会した15年前は、50才となり色々な青年部を引退し、ちょうど代表取締役就任した年であります。その頃たまたま瑞穂鉄工会の見学があり、そこで景山さんと隣の席になり誘われたのがはじまりでした。稲垣豊さんとは同じ月に入会した同級生です。当時は会員が105名と非常に多く、活動をスタートしても名前と顔が合うまでに3年から5年ぐらいかかったように思います。

そのうち委員長や副委員長をする機会も多くなりましたが、私は自分が委員長になったときは自分の思い出に残ることをやるということに心がけてきました。自己満足の世界ですが、そのためこの15年間大変楽しく過ごさせていただいております。ロータリーに入会して良かったと思うのは、大先輩と話ができるようになり、その人に何かと引き上げていただけることです。大変感謝しております。そしてロータリアンであるということだけで意気投合できることも大変ありがたく思っています。反省点としては、自分の会社の都合でこちらにばかりきり、どうしてもロータリーがおろそかになっていることがあります。あちらを卒業したらまたロータリーで頑張りたいと思います。よろしくお願いたします。

## ロータリークラブに入会して良かった事、また要望事項 新入会員 関谷俊征さん



新入会員代表としてお話をさせていただきます。まずロータリークラブに入会して良かったことは、大先輩や社会で活躍されている多くの皆さんと会う場をいただけたことです。例会や懇親の場で色々な人とお話をして、自分の気付いていない多くの「気づき」を与えていただきました。そこで驚いたり感心したりしながら自分自身を振り返ることができれば、それが自分の成長につながるのではないかと思います。出会ってなんぼの人生だという言葉もあります。もちろんまだ2年足らずのクラブ歴ですので全員と親しく話す機会があったわけではありませんが、これからじっくりとそういう機会を増やし、またこれから入ってこられる方も多くの話をしたいと考えています。

次に要望事項ということですが、先程もお話した通り私はまだ入会して2年足らずで正直まだロータリーがよくわかっておりませんし要望を語る資格もないと思っています。ただ1点だけ感じたことをお話をさせていただきます。私は入会前、多くの方から非常に熱心なお誘いを頂きました。しかし、具体的にロータリーが何をしているかという内容はあまりお話しいただけませんでした。その後承認をいただき入会した時に、ロータリーの歴史や考え方の書かれた本や冊子をいただきましたが活字を読んでもなかなか難しいものです。実際のロータリー活動や組織などを入会と同時にガイダンスしていただけたらわかりやすいのではないかと思います。私は入会1年目にローターアクトで話をしてほしいと依頼されたのですが、当時私はローターアクトが何かもどういふ集まりかも行く理由もわからないまま出席して参りました。これは決して良いことではないと思います。私一人が恥をかきただけなら良いのですが名古屋瑞穂RCのメンバーとして行くのですからやはりちゃんとした知識を持って出席するべきだと思いました。入会してすぐそのあたりを勉強をする機会があれば、ロータリーにも溶け込みやすいのではないかと思います。

以上です。ありがとうございました。

## 考察：高村博三長期ビジョン委員長



お三方のお話はロータリーの中のお話ですが、これはどこの世界でも共通のことであると思います。今年のテーマ「原点に返ろう」についても、どの会社にも通じることであり、一番大切なことです。当クラブは個性豊かな人が多数いますが普段から意思の疎通が良好で「よくまとまっている」と評されています。そんな中で私がチャーターメンバーの一人として一番気を遣ったのは、グループ化を避けるということです。私の一番の誇りは、このクラブには派閥がないということです。心が通うということはとても大事なことです。志や意見が違っても1つのグループとして楽しく活動している名古屋瑞穂RCは、RCの見本となり得るクラブであると私は今でも思っています。人数の多い少ないは別として、1つになれるのがロータリーであり名古屋瑞穂RCだと思っています。

## 懇親会

### 乾杯：松井善則直前会長



私も以前、今は亡き大和さんと一緒に第2760地区のライラセミナーをさせていただいたことがあります。その時は本当に心配でしたが、やるとなったら名古屋瑞穂RCは一丸となって会を成功させてくれました。よそのクラブにも褒めていただきましたし、自分自身この名古屋瑞穂RCに入って良かったと思えました。それでは、原点から飛躍していきましょう。乾杯。

## 懇親会風景



Aテーブル代表:入山治樹さん



入会して5年目になりました。野崎先輩、伊藤豪さん、そしてまだ入会歴の短い関谷さんの話も、聞いていてフムフムと全て納得できるものでした。私も、毎回楽しんでロータリー活動に参加させてもらっています。ロータリーは一度休むと休みぐせがつくので、休まないように多少無理してでも出席するようにしています。今後とも頑張っていきますのでよろしくお願いたします。

Dテーブル代表:近藤茂弘さん



3年目に入りました近藤です。皆さんから大変良い話を聞かせていただきました。私もロータリーに入会し、たくさんの方々の色々な経験をさせてもらいとても勉強になっています。先日は台北延平RCの記念式典に出席させていただき、おもてなしの重要性を再確認致しました。今後も積極的にロータリーに参加し、自分自身成長していきたいと思ひます。

Eテーブル代表:大蔵康雄さん



入会2年の大蔵です。私がRCに入って感じていることは、RCに参加していると年を増すごとに元気がでるのかなということです。今日同じテーブルになりました佐藤さんからは、とにかく例会に参加しなさいという教えをいただきました。近藤雄亮さんからは違うRCの例会にも出席してみなさいとアドバイスいただきました。人と出会うことが非常に大事であることを感じています。普通は自分の所属している会社や組織を悪く言う人が少なからずいるものですが、名古屋瑞穂RCには一人もいません。私は転勤族ですので今後いつまで続けられるかわかりませんが、次に行ったところでも皆さんに教えていただいたことを思いだしながら頑張りたいと思ひます。

Fテーブル代表:梅村昌孝さん



Fテーブルでは次のような話をしました。  
・名古屋瑞穂RCは現在仕事の担当が集中しているので、支える人も支えられる人も一丸となって乗り切るべきだということ。  
・派閥のないクラブの素晴らしさについて。  
・台湾の方々との交流をより良くするため、中国・台湾語を少し勉強した方がよいのではないかな。  
・地区との間を密にするため、若手が積極的に外に出ること。  
・この不景気の中、皆仕事で助け合っても良いのではないかな。  
以上です。

天野正明さん

入会して18年になります。会としての有りようが、最近このように立派になってきたことを大変嬉しく思ひます。時代の変化に関わらず高村さん、野崎さんが会の面倒をみてきたことに敬服し、改めて感謝したいと思ひます。去年の分区大会でも解答者の野崎さんのご発言にはものすごく感激いたしました。皆さんも先輩に負けず頑張っていたいただきたいと思います。

閉会挨拶:稲葉徹クラブ奉仕委員長

I.D.M.ということで、野崎さん、伊藤さん、関谷さん、高村さんから



お話をいただきましたが、皆さんRCに対する心は1つだと思います。いよいよ5月には創立30周年記念式典が開催されます。本多実行委員長のもと、式典を成功させ名古屋瑞穂RC一つになって次の10年に向かっていきたいと思ひます。名古屋瑞穂RCが一つになり、式典が成功することを祈念しまして一発締めで終わりたいと思ひます。(一発締め)

ロータリーワールド

世界の水問題に取り組む

3月22日の国連水の日を記念し、クラブや地区で新しい水プロジェクトを開始したり、水問題に関するロータリーの取り組みを地域で推進してみたいかでしょうか。

水の問題は、クラブ例会や地区大会で取り上げるのにふさわしいトピックです。世界でおおよそ25億人の人々が、きれいな水や衛生施設を利用できないという現状を踏まえ、ロータリー財団は、未来の夢計画の6つの重点分野の一つに「水と衛生設備」を選びました。この分野でロータリアンは既に多くの成果をもたらしていますが、クラブや地区にも参加をぜひ呼びかけてください。「水と衛生のロータリアン行動グループ」によると、全世界で約2千の水プロジェクトがロータリアンによって実施されています。

「グローバル・アウトロック」11月号では、きれいな水を提供するだけでなく、衛生設備や衛生教育の推進も盛り込むなど総合的なアプローチを用いたクラブについて紹介しています。「ロータリーの友」11月号またはwww.rotary.org/go(画面下の「日本語」をクリック)で「グローバル・アウトロック」をご覧ください。



▲ウガンダの農村部では、ロータリー財団の保健・飢餓追放・人間性尊重(3-H)補助金のおかげできれいな水がもたらされました。

例会のご案内

■本日の行事 3月25日(木)

卓話講師:財団法人 日本エネルギー経済研究所  
研究主幹 平井晴己さん  
テ - マ:中東の石油事情

■次週予定 4月1日(木)

R規定に基づき休会

■次々週卓話 4月8日(木)

会員卓話:30周年記念実行委員会メンバー  
テ - マ:30周年記念事業について